2025年12月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年５月９日

上 場 会 社 名	株式会社船井総研ホールディングス	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	9757	URL	https://hd.funaisoken.co.jp
代　　表　　者　（役職名）	代表取締役社長 グループＣＥＯ	（氏名）	中谷　貴之
問合せ先責任者　（役職名）	取締役執行役員 マネジメント本部本部長	（氏名）	春田　基樹　（TEL）06-6232-0130
配当支払開始予定日	ー		

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2025年12月期第１四半期の連結業績（2025年１月１日～2025年３月31日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第１四半期	7,775	11.6	2,307	11.1	2,321	12.2	79	△94.7
2024年12月期第１四半期	6,970	3.0	2,076	17.6	2,069	14.2	1,501	24.5

(注)包括利益　2025年12月期第１四半期　71百万円(△95.4%)　2024年12月期第１四半期　1,550百万円(　24.5%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第１四半期	1.71	1.69
2024年12月期第１四半期	31.68	31.34

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第１四半期	29,964	23,347	75.3
2024年12月期	31,438	24,989	77.2

(参考) 自己資本 2025年12月期第１四半期　22,573百万円　2024年12月期　24,269百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	ー	37.00	ー	38.00	75.00
2025年12月期	ー				
2025年12月期(予想)		42.00	ー	43.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2025年12月期の連結業績予想（2025年１月１日～2025年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	16,000	11.1	4,600	9.0	4,600	8.6	1,800	△38.8	38.83
通期	33,000	7.7	8,900	6.9	8,900	5.8	6,600	10.1	142.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期１Ｑ	50,000,000株	2024年12月期	50,000,000株
②　期末自己株式数	2025年12月期１Ｑ	3,639,843株	2024年12月期	3,639,843株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期１Ｑ	46,360,157株	2024年12月期１Ｑ	47,396,564株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】Ｐ．４「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 11
（重要な後発事象） …… 11
３．その他 …… 12
（１）受注及び販売の状況 …… 12

１．経営成績等の概況

（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間における経済環境は、１月に発足した米国の新政権による関税政策によって、企業経営や金融市場を揺らす状況となりました。日本においては、食料品価格の高騰による物価高が重荷となるも、賃上げの動きやインバウンドが好調に推移いたしました。しかし、中小企業においては、原材料価格の高騰、従業員の人手不足は継続しており、引続き厳しい状況にあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、2025年１月よりあがたグローバルコンサルティング株式会社と共に株式会社船井総研あがたＦＡＳの業務を開始し、また同月より日本を代表するマーケターであり、多くの経営者を指導してきた神田昌典氏が率いるアルマ・クリエイション株式会社がグループインいたしました。

その結果、当第１四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高7,775百万円（前年同四半期比11.6％増加）、営業利益2,307百万円（同11.1％増加）、経常利益2,321百万円（同12.2％増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益79百万円（同94.7％減少）となりました。

①売上高・・・7,775百万円（前年同四半期比11.6％増加）

売上高におきましては、経営コンサルティング事業において、主力であります月次支援が増収となり、Ｍ＆Ａコンサルティングにおいても、継続的に成約が続きました。また、ロジスティクス事業における物流企業向け物流コンサルティングも堅調に推移し、増収となりました。

その結果、売上高は前年同四半期と比べて11.6％増加の7,775百万円となりました。

②営業利益・・・2,307百万円（前年同四半期比11.1％増加）

営業利益におきましては、売上原価は4,596百万円（前年同四半期は4,074百万円）、販売費及び一般管理費は871百万円（同819百万円）となりました。適正なコントロールにより旅費交通費のコストを削減することができました。

その結果、営業利益は前年同四半期と比べて11.1％増加の2,307百万円となりました。

③経常利益・・・2,321百万円（前年同四半期比12.2％増加）

経常利益におきましては、営業外収益が34百万円（前年同四半期は15百万円）、営業外費用が20百万円（同22百万円）となりました。

その結果、経常利益は前年同四半期と比べて12.2％増加の2,321百万円となりました。

④親会社株主に帰属する四半期純利益・・・79百万円（前年同四半期比94.7％減少）

親会社株主に帰属する四半期純利益におきましては、当社連結子会社である株式会社船井総合研究所が所有する五反田オフィス売却に伴う特別損失を2,155百万円計上したことにより、前年同四半期と比べて94.7％減少の79百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①経営コンサルティング事業

経営コンサルティング事業におきましては、主力であります月次支援の契約単価の上昇及び経営研究会会費の値上げの効果もあり、前年同四半期と比べて増収となりました。業種別で見ますと、住宅不動産業界向けコンサルティング部門が大きく売上高を伸ばし、医療介護福祉業界向けコンサルティング部門は堅調に売上高を伸ばすことができました。利益面におきましては、人的資本強化のため積極的に人財投資を行いつつ、営業活動の効率化による旅費交通費の削減により、増益となりました。

また株式会社船井総研あがたＦＡＳ及びアルマ・クリエイション株式会社においては順調なスタートを切ることができ売上高増加に寄与いたしました。

その結果、売上高は5,589百万円（前年同四半期比13.8％増加）、営業利益は2,157百万円（同26.5％増加）となりました。

②ロジスティクス事業

ロジスティクス事業におきましては、物流コンサルティング業務の、荷主企業向けサロンの会員数が増加傾向にあり堅調に推移いたしました。また、物流企業向けコンサルティングの研究会の会員数増加により増収となりました。物流ＢＰＯ業務も、既存顧客との取引が伸長したことで、増収となりました。

その結果、売上高は1,147百万円（前年同四半期比15.3％増加）、営業利益は172百万円（同20.9％増加）となりました。

③デジタルソリューション事業

デジタルソリューション事業におきましては、ＷＥＢ広告運用代行の売上高は引続き堅調に推移したものの、クラウドソリューションにおける下請け型の受託案件の縮小により、減収となりました。ＨＲソリューションにつきましても、採用広告運用代行サービスにおいて、一部大型クライアントの広告予算縮小に伴い減収となりました。利益面では、人件費を中心とした営業費用が増加したため、減益となりました。

その結果、売上高は1,038百万円（前年同四半期比2.3％減少）、営業損失は19百万円（前年同四半期は営業利益180百万円）となりました。

（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産の部）

当第１四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,474百万円減少し、29,964百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて25百万円減少し、17,731百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,448百万円減少し、12,233百万円となりました。これは主に投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産の増加、土地及び投資有価証券の減少によるものであります。

（負債の部）

当第１四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて167百万円増加し、6,617百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて120百万円増加し、6,395百万円となりました。これは主に賞与引当金及びその他に含まれる預り金の増加、未払金及び未払法人税等の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて47百万円増加し、222百万円となりました。これは主にその他に含まれるリース債務の増加によるものであります。

（純資産の部）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,641百万円減少し、23,347百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の増加、剰余金処分による利益剰余金の減少によるものであります。

（自己資本比率）

当第１四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて1.9ポイント減少し、75.3％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期においては「中期経営計画（2023年度～2025年度）」の最終年度として、当社グループのパーパスである「サステナグロースカンパニーをもっと。」の実現にむけて、パーパス浸透を推進してまいります。また、当社グループの中核事業である経営コンサルティング事業を中心に、企業の経営課題を一気通貫でサービス提供できる体制にビジネスを拡張してまいります。さらに、グループビジョンである“中堅・中小企業を中心とした「デジタル」×「総合」経営コンサルティング”を推進し、グループ内のアライアンス力を高めながら、顧客企業の経営者ニーズをとらえ、時流に即した経営コンサルティングサービスを提供してまいります。

また2025年４月30日付で、デジタルマーケティング事業等を営む株式会社アパレルウェブの株式取得を行い、新たに連結子会社といたしました。詳細につきましては、５月１日付で当社ホームページに掲載しております「船井総研ホールディングス、アパレルウェブの株式を取得しグループイン」をご覧ください。

なお、通期の連結業績予想につきましては、売上高33,000百万円、営業利益8,900百万円、経常利益8,900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益6,600百万円を見込んでおります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2025年３月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,846,416	10,575,491
受取手形、売掛金及び契約資産	4,348,404	4,462,620
有価証券	1,203,261	1,402,053
仕掛品	199,518	194,461
原材料及び貯蔵品	6,437	4,837
その他	1,372,282	1,312,832
貸倒引当金	△219,478	△221,227
流動資産合計	17,756,843	17,731,068
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,639,515	1,426,295
土地	4,556,233	2,622,270
その他（純額）	311,549	389,956
有形固定資産合計	6,507,298	4,438,521
無形固定資産		
ソフトウエア	360,002	333,102
のれん	266,353	338,632
その他	34,700	56,115
無形固定資産合計	661,056	727,851
投資その他の資産		
投資有価証券	2,264,909	2,031,625
退職給付に係る資産	450,794	455,198
長期預金	2,100,000	2,100,000
その他	1,705,831	2,489,018
貸倒引当金	△7,787	△8,478
投資その他の資産合計	6,513,748	7,067,363
固定資産合計	13,682,104	12,233,736
資産合計	31,438,947	29,964,804

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2025年３月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	601,882	605,344
短期借入金	200,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	－
未払金	2,208,591	1,957,903
未払法人税等	1,170,901	916,716
賞与引当金	－	517,609
その他	1,993,587	2,147,551
流動負債合計	6,274,962	6,395,125
固定負債		
退職給付に係る負債	50,148	51,111
繰延税金負債	94,105	82,198
その他	30,219	88,820
固定負債合計	174,473	222,130
負債合計	6,449,436	6,617,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,125,231	3,125,231
資本剰余金	2,946,634	2,946,634
利益剰余金	25,409,643	23,727,089
自己株式	△7,276,480	△7,276,480
株主資本合計	24,205,029	22,522,475
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193,482	172,687
為替換算調整勘定	32,868	28,781
退職給付に係る調整累計額	△162,135	△149,974
その他の包括利益累計額合計	64,215	51,494
新株予約権	720,265	756,148
非支配株主持分	－	17,430
純資産合計	24,989,511	23,347,548
負債純資産合計	31,438,947	29,964,804

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2024年１月１日 至 2024年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年３月31日）
売上高	6,970,347	7,775,446
売上原価	4,074,591	4,596,829
売上総利益	2,895,756	3,178,616
販売費及び一般管理費	819,096	871,054
営業利益	2,076,660	2,307,561
営業外収益		
受取利息	2,066	6,872
受取配当金	22	234
投資有価証券売却益	2,373	7,208
投資有価証券評価益	1,736	3,273
その他	9,410	17,175
営業外収益合計	15,609	34,763
営業外費用		
支払利息	1,220	1,376
投資有価証券評価損	1,556	2,046
投資事業組合管理費	18,157	6,645
為替差損	－	3,424
その他	1,715	6,896
営業外費用合計	22,649	20,389
経常利益	2,069,620	2,321,935
特別利益		
固定資産売却益	194,887	－
特別利益合計	194,887	－
特別損失		
固定資産売却損	945	－
減損損失	－	2,155,860
固定資産除却損	7,370	0
事務所移転費用	102,583	23,186
特別損失合計	110,899	2,179,047
税金等調整前四半期純利益	2,153,607	142,888
法人税、住民税及び事業税	744,909	856,302
法人税等調整額	△92,632	△797,476
法人税等合計	652,276	58,826
四半期純利益	1,501,331	84,061
非支配株主に帰属する四半期純利益	－	4,930
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,501,331	79,131

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2024年１月１日 至 2024年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年３月31日）
四半期純利益	1,501,331	84,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,704	△20,794
為替換算調整勘定	3,611	△4,087
退職給付に係る調整額	9,049	12,160
その他の包括利益合計	49,365	△12,721
四半期包括利益	1,550,696	71,340
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,550,696	66,410
非支配株主に係る四半期包括利益	－	4,930

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2024年１月１日　至　2024年３月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	経営コンサルティング事業	ロジスティクス事業	デジタルソリューション事業	計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
月次支援コンサルティング	3,476,422	－	－	3,476,422	－	3,476,422
プロジェクトコンサルティング	635,596	－	－	635,596	－	635,596
経営研究会会費	577,896	－	－	577,896	－	577,896
物流コンサルティング	－	241,021	－	241,021	－	241,021
物流ＢＰＯ	－	754,018	－	754,018	－	754,018
ＩＴコンサルティング	－	－	30,230	30,230	－	30,230
ＳＰＸ	－	－	524,184	524,184	－	524,184
クラウドソリューション	－	－	225,828	225,828	－	225,828
ＨＲソリューション	－	－	278,508	278,508	－	278,508
その他	222,163	－	4,030	226,193	－	226,193
顧客との契約から生じる収益	4,912,079	995,039	1,062,781	6,969,901	－	6,969,901
その他の収益（注）３	－	－	－	－	446	446
外部顧客への売上高	4,912,079	995,039	1,062,781	6,969,901	446	6,970,347
セグメント間の内部売上高又は振替高	366,864	128,346	362,276	857,487	△857,487	－
計	5,278,944	1,123,386	1,425,058	7,827,388	△857,041	6,970,347
セグメント利益	1,705,713	142,874	180,252	2,028,840	47,820	2,076,660

（注）１　セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去3,821,661千円及び各報告セグメントに配分していない全社収益4,609,289千円並びに全社費用739,807千円が含まれております。全社収益は、各グループ会社からの業務受託手数料、経営指導料及び不動産賃貸収入等であり、全社費用は、主にグループ運営に係る費用であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３　その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年３月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	経営コンサルティング事業	ロジスティクス事業	デジタルソリューション事業	計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
月次支援コンサルティング	3,794,097	－	－	3,794,097	－	3,794,097
プロジェクトコンサルティング	810,221	－	－	810,221	－	810,221
経営研究会会費	710,585	－	－	710,585	－	710,585
物流コンサルティング	－	266,845	－	266,845	－	266,845
物流ＢＰＯ	－	880,467	－	880,467	－	880,467
ＩＴコンサルティング	－	－	74,638	74,638	－	74,638
ＳＰＸ	－	－	545,523	545,523	－	545,523
クラウドソリューション	－	－	150,895	150,895	－	150,895
ＨＲソリューション	－	－	266,975	266,975	－	266,975
その他	274,432	－	763	275,196	－	275,196
顧客との契約から生じる収益	5,589,337	1,147,313	1,038,795	7,775,446	－	7,775,446
外部顧客への売上高	5,589,337	1,147,313	1,038,795	7,775,446	－	7,775,446
セグメント間の内部売上高又は振替高	35,549	143,326	16,654	195,529	△195,529	－
計	5,624,886	1,290,639	1,055,449	7,970,976	△195,529	7,775,446
セグメント利益又は損失（△）	2,157,609	172,673	△19,800	2,310,482	△2,921	2,307,561

（注）１　セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去4,280,311千円及び各報告セグメントに配分していない全社収益5,170,835千円並びに全社費用893,444千円が含まれております。全社収益は、各グループ会社からの業務受託手数料、経営指導料及び不動産賃貸収入等であり、全社費用は、主にグループ運営に係る費用であります。

２　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前第１四半期連結累計期間（自　2024年１月１日　至　2024年３月31日）

該当事項はありません。

当第１四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年３月31日）

（単位：千円）

	経営コンサルティング事業	ロジスティクス事業	デジタルソリューション事業	計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
減損損失	2,155,860	－	－	2,155,860	－	2,155,860

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年１月１日 至　2024年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年３月31日）
減価償却費	68,392千円	89,011千円
のれんの償却額	22,196千円	27,168千円

（重要な後発事象）

（当社の取締役、執行役員、子会社取締役及び子会社執行役員に対する株式報酬型ストックオプション割当）

当社は、2025年５月９日開催の取締役会において、当社の取締役（監査等委員及び社外取締役を除く）、執行役員、子会社取締役及び子会社執行役員に対するストックオプションとして発行する新株予約権の募集事項を決定し、当該新株予約権を引き受ける者の募集をすること等につき決議いたしました。詳細につきましては、本日公表の「株式報酬型ストックオプション（新株予約権）割当に関するお知らせ」をご参照ください。

３．その他

（１）受注及び販売の状況

①受注実績

当第１四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
経営コンサルティング事業	5,047,900	+6.8	8,309,578	+3.5
ロジスティクス事業	216,792	+20.3	300,361	+26.5
デジタルソリューション事業	361,640	+23.6	225,685	+17.4

(注) １　経営コンサルティング事業については、月次支援及びプロジェクトの経営コンサルティング収入についてのみ記載しております。
２　ロジスティクス事業については、物流コンサルティング収入についてのみ記載しております。
３　デジタルソリューション事業については、ＩＴコンサルティング収入及びクラウドソリューション収入についてのみ記載しております。
４　金額は販売価格で表示しております。

②販売実績

当第１四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
経営コンサルティング事業	5,589,337	+13.8
ロジスティクス事業	1,147,313	+15.3
デジタルソリューション事業	1,038,795	△2.3
合計	7,775,446	+11.6

(注) １　販売実績は、外部顧客に対する売上高を表示しております。
２　総販売実績に対して10%以上に該当する相手先はありません。